

第60回 卒業証書授与式

～75名の卒業生（60回生）、学び舎を巣立つ～



3月1日（金）、第60回卒業証書授与式を挙行了しました。コロナ感染対策の多くを解除し、通常の形で行われた本年度の卒業式では、各クラスの代表が舟越裕校長より卒業証書を授与された後、在校生代表の山崎康樹さん（2年 志佐中出身）が送辞、卒業生代表の久保川諒人さん（調川中出身）が答辞を読み上げ、最後に校歌を斉唱して式は幕を閉じました。75名の卒業生（60回生）の門出にふさわしい、素晴らしい卒業式でした。

卒業生代表答辞より

～「心躍る方へと挑戦し、どんな困難にも挫けず、立ち向かっていきます」～

先生方。部活動との両立や進路について悩んだ時、親身になって相談に乗ってくださり、ありがとうございました。これからも精進します。

家族のみんな。これまで幸せな環境で育ててくれてありがとう。いつか必ず恩返しします。そしてこれからもよろしくお願ひします。

3年間の高校生活を楽しくしてくれた（同級生の）みんな。みんなと過ごした日々は宝物です。何気ない事でも、私たちにとって青春そのものであり、幸せな時間でした。この幸せをかみしめ、明日からの生活を共に頑張っていきましょう。そして、また絶対に集まりましょう。3年間本当にありがとう。

私たち60回生は、この思い出が詰まった学び舎を巣立つ準備を終えました。明日から私たちは、それぞれの道を歩み始めます。自分たちの人生の正解を決めるのは、私たち自身です。この松浦高校で学んだことを忘れず、心躍る方へと挑戦し、どんな困難にも挫けず、立ち向かっていきます。（代表：久保川諒人さん 調川中出身）



卒業生各種表彰

～ 延べ49名の卒業生が高校生活最後の表彰状を手にする ～

2月29日（木）、卒業生各種表彰式を行い、延べ49名の卒業生が表彰されました（概要は下記のとおり）。

【表彰された卒業生】

注）〈 〉内は出身中学校、敬称略

[県教委優良卒業生徒表彰] 望月 淳ノ介〈志佐〉

[県高体連一般表彰] 濱崎 明里 〈御厨〉

[県高体連卒業生顕彰] 富野 菜々美〈志佐〉

[県高文連卒業生顕彰] 濱田 詩月 〈志佐〉

[全商成績優秀者表彰] 濱田 詩月 〈志佐〉

[全商3種目以上1級合格] 久保川 翔・濱田 詩月・益本 理広〈志佐〉、小田 柚葉・柿山 慶樹〈今福〉
内野 ひなた・森山 野乃〈世知原〉

[県ビジネスマイスター ゴールド表彰] 濱田 詩月・益本 理広〈志佐〉、内野 ひなた〈世知原〉
他18名がシルバー・ブロンズ表彰

[皆勤者表彰（敬称略）] 川下 翔・松田 葵・山口 紗愛・北島 蓮〈志佐〉、梶原 翔・戸山 桐輝〈調川〉、
迎 柑奈・田渕 那月・平野 翔悟・吉原 双葉〈御厨〉、辻 明宏・石田 真優・金崎 月愛〈田平〉、
森 夏菜子〈吉井〉、森山 野乃〈世知原〉



インターンシップ・フィールドワーク

～ 2年生は職業体験、1年生はまつナビに全力を尽くす ～

3月12日（火）から14日（木）までの3日間、インターンシップを行いました。2年生が松浦市内の事業所や公的機関で実際の業務を体験し、職業観や勤労観を高めました。みやだデザインでインターンシップを行った宮本爽さん（鷹島中出身）は「ポスターの製作をさせていただくことで、“考えることの大切さ”を学びました。この体験を進路実現につなげたいと思います」と語りました。



3月13日（水）には、まつナビ（課題研究）の一環としてフィールドワークを行いました。1年生が研究テーマ別の班に分かれて、関係施設の見学やインタビューを行い、様々な情報の収集に努めました。「水産業の活性化」というテーマで研究を進め、青島の養殖場を訪問した2班の山崎恒希さん（志佐中出身）は「養殖の歴史を聞かせていただいたり、実際の養殖されている魚を見せていただいて、貴重な情報を得ることができました。

今後のまつナビの活動に活かしていきたいと思います」と語りました。

松浦駅駅名票デザイン制作・長崎新聞ジュニア歌壇年間賞

～ 美術部と藤崎さんが活躍 ～

MR松浦駅の駅名票リニューアルに際し、アジフライや元寇船をモチーフにしたデザインなど、様々なアイデアを出した本校美術部に、2月28日（水）、感謝状が贈呈されました。吉田夢那さん（1年 志佐中出身）は「美術部として松浦に貢献することができ、とても嬉しいです。この新しい駅名票を見た人が“また松浦にきたい”と思ってくれるといいなと思います」と語りました。



2月12日（月）には「長崎新聞ジュニア歌壇年間賞」が発表され、本校2年の藤崎茉帆さん（志佐中出身）の「ローファーがすれて色落ちでも使う 後一年の私の相方」という作品が年間賞に輝きました。藤崎さんは「“相方”という言葉を使うことで、入学以来、いつも通学する時に履いているローファーへの愛着を表現しました。入賞したことは素直に嬉しいです。松高生の皆さん、一緒に色々な事にチャレンジしましょう！」と語りました。

「世の中に たえて桜のなかりせば…」

校長 舟越 裕

年度末・年度初めは、学校にとって別れと出会いの季節です。この季節の落ち着いた気分をさらにかき乱すのが桜の花です。平安時代の歌人 在原業平は「世の中に たえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし」とうたっており、人々が桜に心を動かされてきたことがわかります。

桜の蕾は冬に入る前にいったん休眠して成長を止め、冬の厳しい寒さで再び目を覚まし（休眠打破）、春の暖かさによって成長していきます。桜の開花には、冬にある程度寒くなる必要があります。これがうまくいかないと開花が遅れます。2020年の桜の開花日は、東京の3月14日に対して鹿児島は4月1日でした。

美しい満開の桜にパワーをもらう人もいれば、それを眩しすぎると感じる人もいるでしょう。また、散りゆく桜に、浮世のはかなさを感じる人も多いかもかもしれません。ただ、人を魅了してやまないその美しさを解き放つまでには、桜には桜の準備があります。人も同じでしょうし、組織も同じなのかもしれません。松浦高校も、新年度に輝きを放てるようできる限りの準備を整えておきたいと思います。



松高
YouTube



松高
ホームページ



松高
インスタグラム



松高
月間行事予定